

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

結城市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

茨城県結城市

3 地域再生計画の区域

茨城県結城市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、戦後の 1945 年以降、4 万人程度で推移しており、高度成長期の 1965 年頃に一旦減少したものの、工場等の地方進出に伴う住宅開発の広がりなどにより 1995 年まで増加している。この後、バブル経済の崩壊や少子高齢化が相まって減少傾向に転じたが、区画整理などの宅地開発等もあり 2005 年から 2010 年の間に再び増加に転じて、住民基本台帳によると 2020 年現在 51,580 人となっている。

しかし、国立社会保障・人口問題研究所による将来人口の見通しによれば、長期将来の 2040 年には総人口が約 41,023 人まで減少することが予測されている。

年齢構成別では、年少人口比率（0～14 歳）は低下を続けているものの、2010 年以降は下げ止まりつつある状況で 13%前後での推移が予想されている。一方で高齢化率は一貫して上昇を続けており、2010 年時点で既に 23%、2020 年には 31%に達すると予想され、反面、社会を支える生産年齢人口比率はピーク時の 2000 年の 68%から 2020 年には 57%程度まで落ち込むと想定されている。

自然動態は、2006 年以降一貫して出生数が死亡数を下回る「自然減」の状況が続いており、自然減は大きくなりつつあり、2019 年現在 315 人の自然減少となっている。なお、本市の合計特殊出生率については、2014 年で 1.43 であり、県内では中位程度であり、県全体 1.43、全国の 1.42 と同程度となっている。2019 年現在は 1.51 となっている。

社会動態について、1995 年から 2001 年までの間、転出が転入を上回る「社会減」

の状況が続いていましたが、2009年には転入が転出を上回りました。また、東日本大震災以降、人口の社会流動性は高まりを見せているものの、経済の低迷を背景とした新規雇用の抑制などを背景とした転入者の減少により、2019年現在30人の社会増加となっている。

人口減少や高齢化社会の到来は、地域経済の縮小、地域産業における担い手の不足、公共施設の維持管理・更新等への影響、人口減少によるコミュニティ機能の低下、市財政への影響などが懸念される。

こうした課題に対応するため、次の事項を基本目標に掲げ、本市の活性化と人口減少の抑制に資する施策に取り組む。

- ・基本目標1 安定した雇用と地域労働力を「結ぶ」
～安定した雇用と稼げる産業の創出～
- ・基本目標2 地域資源を活用して人の縁を「結ぶ」
～リレーションシップ強化！新しい人の流れをつくる～
- ・基本目標3 結婚・出産・子育てへといのちを「結ぶ」
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える～
- ・基本目標4 地域ぐるみのまちづくりで地域と地域を「結ぶ」
～時代に合った魅力的な地域づくりと地域間連携～

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規雇用者の増加数	0人	15人	基本目標1
	工業団地への新規進出企業数	14社	26社	
	中心市街地における個人起業件数	0件	3件	
イ	社会動態による人口増加数	161人	351人	基本目標2

	年間観光客入込数	97,400人	150,000人	
ウ	合計特殊出生率	1.43	1.53	基本目標 3
エ	市外で暮らしたいと考えている市民の割合	16%	5%	基本目標 4
	暮らしやすさの満足度	81%	90%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 及び 5-3 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

結城市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安定した雇用と地域労働力を「結ぶ」事業

イ 地域資源を活用して人の縁を「結ぶ」事業

ウ 結婚・出産・子育てへといのちを「結ぶ」事業

エ 地域ぐるみのまちづくりで地域と地域を「結ぶ」事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用と地域労働力を「結ぶ」事業

雇用基盤の充実と企業支援の推進，伝統産業の振興と創業支援，元気あふれる農業の振興など，安定した雇用と地域労働力を結ぶ事業。

【具体的な取組】

- ・新たな産業拠点の形成事業
- ・ユネスコ無形文化遺産「結城紬」の保存・伝承事業
- ・農産物のブランド化，6次産業化推進事業 等

イ 地域資源を活用して人の縁を「結ぶ」事業

地域資源を生かした着地型観光の推進，移住定住促進の推進，若者が行き

交うまちづくりの推進など、地域資源を活用して人の縁を結ぶ事業。

【具体的な取組】

- ・地域資源を活かしたイベントの開発・開催
- ・居住環境の整備推進，移住定住者専用窓口の設置，シティプロモーションの推進
- ・関係人口の形成事業，若者によるまちづくり活動の支援 等

ウ 結婚・出産・子育てへといのちを「結ぶ」事業

結婚・子育てへの支援，教育環境・内容の充実，ワークライフバランスの推進など，結婚・出産・子育てへといのちを結ぶ事業。

【具体的な取組】

- ・婚活に対する支援事業
- ・教育体制の充実事業
- ・テレワークによる働き方支援等による女性の活躍推進事業 等

エ 地域ぐるみのまちづくりで地域と地域を「結ぶ」事業

広域連携の推進，安全で住みやすさを実感できるまちづくり，協働で進める持続可能なまちの実現など，地域ぐるみのまちづくりで地域と地域を結ぶ事業。

【具体的な取組】

- ・定住自立圏の推進事業
- ・地域医療体制の充実事業
- ・地域コミュニティの強化・再構築 等

※なお，詳細は第2期「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略2020」のとおりに。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,058,645千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い，翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに結城市HP上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

5－3－1 地域再生基本方針に基づく支援措置

5－3－2 支援措置によらない独自の取組

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで